

プロフィール

●歌：池田綾子（いけだ あやこ）

東京都出身。武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業。2002年から音楽活動を開始。日本語の「響き」を大切にした歌詞と旋律、クラシックの発声を基調とした独自の歌声を持つシンガーソングライター。心の音を紡ぐような音楽世界と透き通る声の音色は、ジャンルを超えて数々のコラボレーションを生み続けている。今までに数多くのTV、CM、映画、アーティストへの楽曲提供も行う。また、光の切り絵作家・酒井敦美氏との共同作品「音と光り絵コンサート」を大切に継続している。屋久島の森の中で2000本のキャンドルを灯し、自然と響き合う幻想的な音楽祭「やくしま森祭り」を立ち上げ、15年目を迎えた。今までに7枚のオリジナルアルバムをリリースしている。NHK「みんなのうた」では「数え歌」など4作、NHK BSプレミアム「にっぽん縦断こころ旅」のテーマソング・挿入歌、NHKニュースの番組音楽を手掛ける。また、小学校の教科書にも合唱曲を書き下ろし、授業や卒業式などで歌われている。



手嶌葵氏に楽曲提供した、フジテレビドラマ「いつかこの恋を思い出してきっと泣いてしまう」の主題歌「明日への手紙」は、2016年国際ドラマフェスティバル in TOKYO 東京ドラマアワードにて主題歌賞を受賞。2017年にはJR九州クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」イメージソングを制作、その後もななつ星の音楽に継続的に関わっている。2018年には20年ぶりにオリジナルアルバムをリリースした薬師丸ひろ子氏に「アナタノコトバ」を楽曲提供。同年11月には、自身の5年ぶりのオリジナルアルバム「風を紡ぐ」をリリース。2020年7月、林部智史氏に楽曲提供した「タカラモノ」が、テレビ東京系「開運！なんでも鑑定団」エンディングテーマ曲となり、同年夏には、日本航空株式会社（JAL）のラジオCMソングに「星空サンクチュアリ」が採用された。

◎2013年 「やまなし大使」に就任

◎2020年 「山梨県富士川町観光大使」に就任

◎2020年 環境省「つなげよう、支えよう、森里川海プロジェクト アンバサダー」に就任



●光の切り絵作家：酒井敦美（さかい あつみ）

愛知県出身・在住。独学で絵を描きつづけ、舞台用の切り絵制作を経て、光の切り絵作家として活動を続けている。“切り絵”を、“光”に透かして、表現するオリジナル作品を「光の切り絵」と名付け、制作・発表を続けている。光の切り絵の中には、一枚の絵が2場面に変化する「一画二驚（いちがにきょう）」、街路や自然の中に切り絵を投影する「幻灯空間（げんとうくわかん）」などがあり、様々な表情の光の切り絵を制作している。

◎常設展示：切り絵の森美術館（山梨県） 四国水族館（香川県）

●ピアノ：長谷川久美子（はせがわ くみこ）

4歳からピアノに触れ、遊び弾きの中から、自然と作曲を始める。東京音楽大学作曲科映画放送音楽コース卒業。空気を内包するような歌声を持ち味として、ピアノ連弾ユニット Hands two Hands として活動後、ソロ活動をスタート。遊び弾きの中から生まれた自由な感性とベーシックな音楽能力の高さを生かし、映画「ここに、幸あり」、ドキュメンタリー映画「不思議なクニの憲法」の音楽や、CM音楽、アーティストへの楽曲提供、NHK BSプレミアム「日本縦断こころ旅」のテーマ曲のアレンジ等を手がける。また、歌い手としての感覚を生かした歌の呼吸に寄り添うピアニストとして、池田綾子、松本英子、手嶌葵らのピアノサポートをつとめる。